

授業科目名 <英訳>	交絡調整の方法 Intermediate Biostatistics	担当者所属・ 職名・氏名	医学研究科 教授 医学研究科 助教 厚生労働省	佐藤 俊哉 米本 直裕 森 和彦
---------------	---------------------------------------	-----------------	-------------------------------	------------------------

配当 学年	専門職	単位数	2	開講年度・ 開講期	2017・ 後期	曜時限	火2	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
----------	-----	-----	---	--------------	-------------	-----	----	----------	----	----------	-----

【授業の概要・目的】

前期コア科目である「医療統計学」で学んだ医療統計学の考え方を実践するための具体的な統計的方法について講義します。

本講義では、疫学研究などの観察研究において因果関係を調べる際に妨げとなる「交絡」を調整する方法として、層別解析、回帰モデルなどの解析方法を説明するとともに、解析計画を立てる上で必須である「研究計画書」での医療統計的なポイント、データ解析を実施する上で必要となる「解析計画書」作成のポイントをとり上げます。「医療統計学」よりも専門的な内容が増えますが、具体例を示しながら基本的な考え方を中心に講義します。

履修条件に注意してください。

【パワーポイントスライドによる講義形式】

【到達目標】

- ・ 交絡について理解し、それを正しく説明できる
- ・ 交絡調整における層別解析と回帰モデルの意義を理解し、説明できる
- ・ 層別解析と回帰モデルの利点・欠点を説明できる
- ・ 研究計画書、解析計画書の重要性を理解し、説明できる

【授業計画と内容】

第1回	10月3日	交絡の復習と標準化
第2回	10月10日	共通効果の推定
第3回	10月17日	平均値の比較
第4回	10月24日	比較上級編、サンプルサイズ設計
第5回	10月31日	回帰モデル入門、第1回ミニテスト
第6回	11月7日	一般化線形モデル
第7回	11月14日	生存時間解析1
第8回	11月21日	生存時間解析2
第9回	11月28日	欠測データへの対処、第2回ミニテスト
第10回	12月5日	研究計画書の作成
第11回	12月12日	解析計画書の実際
第12回	12月19日	医薬品の審査と市販後安全対策（森先生） （第12回のみ13:00から14:30）
第13回	1月9日	変数選択、第3回ミニテスト
第14回	1月16日	上級者の交絡調整の方法
第15回	1月23日	解析計画ディスカッション

----- 交絡調整の方法(2)へ続く -----

交絡調整の方法(2)

[履修要件]

- ・前期コア科目「医療統計学」を履修済みであること
- ・人間健康科学系専攻の学生さんの受け入れはしていません

[成績評価の方法・観点及び達成度]

3回のミニテスト

[教科書]

『医療統計学 配布資料』

[参考書等]

(参考書)

Rothman KJ, Greenland S, Lash TL. 『Modern Epidemiology, 3rd ed.』 (Lippincott Williams & Wilkins, 2008.)

[授業外学習(予習・復習)等]

前期コア科目「医療統計学」資料を復習してください。

(その他(オフィスアワー等))

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。